

体 育

対象クラス	第2学年 男子	単位数	2
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		
使用副教材			

「体育」とはこんな科目です。
 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することを目指します。

科目の到達目標(目標とする検定等)
 ・運動の合理的、計画的な実践をとおして、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
 ・運動における競争や協働の経験をとおして、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めているか。 ・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けているか。	・行動観察 ・レポート ・技能テスト
思考・判断・表現	3	・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、自ら進んで計画的に運動をしようとしているか。 ・公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して運動しようとしているか。 ・自己やグループの能力と特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫しているか。	・行動観察 ・レポート ・自己評価 ・発言
主体的に学習に取り組む態度	3	・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項・競技ルールや審判法を理解し、知識を身に付けているか。	・行動観察 ・自己評価 ・小テスト ・発言

学習計画(どのような内容を、どのような時期に学ぶのか)

時期	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	A.体づくり運動 ※体育理論(随時実)	・体ほぐし運動 ・体力を高める運動	・自己の体に関心を持ち、体力や生活に応じた課題をもって体ほぐしや体力を高める運動を行い、生活の中で実践できるようにする。
	E.球技(ネット型) バレーボール	・グループ学習による 個人的技能・集団的技能 ・ゲーム、審判法	・種目の特性を理解し、自己やチームの能力を把握する。 ・バレーボールの楽しさを味わいながら個人やチームの課題を設定し解決に向け練習を工夫して、それに伴う企画や運営、審判を行う。
前期期末	○選択種目 E.球技(ネット型) テニス	・グループ学習による 個人的技能・集団的技能 ・ゲーム、審判法	・種目の特性を理解し、自己やチームの能力を把握し、ゲームをとおして種目の楽しさを味わいながら個人やチームの課題を設定し、解決に向けて練習を工夫する。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、もっている技能を最大限に発揮しゲームを行い、ゲームの企画や運営、審判を行えるようにする。
	E.球技(ゴール型) サッカー		
後期中間	C.陸上競技 ハードル走	・グループ学習による 個人的技能 ・競技会	・ハードル走の特性を理解し、自己の課題に適した課題を設定し、より高い技能を身に付け、記録向上を図る。 ・競技規則を十分理解し、互いに協力して競技会の企画や運営、審判を行う。
	○選択種目 E.球技(ベースボール) ソフトボール	・グループ学習による 個人的技能・集団的技能 ・ゲーム、審判法	・種目の特性を理解し、自己やチームの能力を把握し、ゲームをとおしてその種目の楽しさを味わいながら個人やチームの課題を設定し、解決に向けて練習を工夫する。
	E.球技(ネット型) 卓球		・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、もっている技能を最大限に発揮しゲームを行い、それに伴う企画や運営、審判を行う。
学年末	G.ダンス A.体づくり運動 ※体育理論(随時実)	・グループ学習による 個人的技能・集団的技能 ・発表会	・種目の特性を理解し、個人やグループの能力を把握する。 ・リズムやステップの変化に合わせ、リズムカルにかつダイナミックに発表ができるようにする。